

日本宗教文献調査学 合同研究集会

〔日程〕 2017年9月23日（土・祝）～24日（日）

〔会場〕 慶應義塾大学 北館 1F ホール（東京都港区三田2-15-45）

9月23日 [Sat.] 13:00～17:30（12:00 受付開始）

〔基調講演〕

永村真氏（日本女子大学 名誉教授：醍醐寺に伝わる顕・密聖教）

〔公開シンポジウム①「文化財の複製とデジタルアーカイブス」〕

吉田謙一氏（富士ゼロックス西日本：複製古文書作製による文化伝承推進）

大河内智之氏（和歌山県立博物館：3Dプリンタを用いた仏像神像複製）

大澤留次郎氏（凸版印刷：OCR技術の歴史的資料への応用

——系図血脈資料からくずし字まで——）

村川猛彦氏（和歌山大学：系図を対象としたデータベースシステムの構築）

永崎研宣氏（人文情報学研究所：デジタルテキスト技術）

〔司会〕 宇都宮啓吾氏（大阪大谷大学）

9月24日 [Sun.] 10:00～12:00（9:30 受付開始）

〔ポスターセッション〕 10:00～12:00

各地の寺院経蔵文献調査のポスター報告

※ポスター報告にご関心をお持ちの方は本紙裏面記載のアドレスにご連絡下さい

〔展示・紹介ブース〕 10:00～12:00（一部、23日からオープンします）

・古典籍展観ブース

・デジタル・複製技術 体感ブース

・報告書・目録等の頒布（販売）ブース ※頒布等ご希望の方はご連絡下さい

9月24日 [Sun.] 12:30 ~ 17:30

【公開シンポジウム②】「聖教が繋ぐ—中世根来寺の宗教文化圏—」

【司会】

宇都宮 啓吾 氏 (大阪大谷大学：智積院聖教と家原寺聖教から)

【KeyNote】

中山 一麿 氏 (大阪大学：覚城院聖教から)

【報告】

海野 圭介 氏 (国文学研究資料館：金剛寺聖教から)

横内 裕人 氏 (京都府立大学：仁和寺聖教から)

阿部 泰郎 氏 (名古屋大学：真福寺大須文庫聖教から)

苫米地 誠一 氏 (大正大学：根来寺をめぐる問題)

【コメンテーター】

永村 眞 氏 (日本女子大学 名誉教授)

中川 委紀子 氏 (根来寺文化研究所)

背景：国立国会図書館蔵『熊野大雲鳥より和歌浦迄之図』(江戸一軸)

【開催趣意】

今日に至る寺社資料(聖教・古文書)調査の淵源を尋ねますと、近代的な意味においてのそれは、黒板勝美氏が主導した東寺・醍醐寺・金剛峯寺等の調査研究、および『大日本古文書』『国史大系』の刊行等といった基礎的資料・情報の普及に求められるとしてもよいでしょう。それ以後、数多の寺社の宝蔵がひらかれ、たとえば『高山寺資料叢書』『真福寺善本叢刊』『醍醐寺文書聖教類目録』といった資料叢書・目録類が学界にもたらされてきました。このような成果が日本史学・日本語学・訓点語学・日本文学に与えた影響については、いま改めて言を費やす必要もないほどに多大です。そして現在においてもなお、日々、日本各地の蔵がひらかれ、そこに収蔵される様々な文化財の存在や意義が明らかにされつつあります。

しかしながら、調査団の母体が「科研費による調査」「博物館・文書館が中心となった自治体主導の調査」「寺社が主導する調査」など多岐にわたることを原因のひとつとして、各調査団が明らかにしえた情報は他の調査団との間で十分に共有されているとはいいがたい状況にあるのではないのでしょうか。現今の研究の進捗によって、往時の寺々は僧侶の移動や典籍の貸借によって広域的な知のネットワークを形成していたことがより明らかになりつつありますが、そのこととむしろ対照的であると言ってもよいかもしれません。

このような現状に鑑み、寺社に収蔵される文献等の文化財を調査・研究することについての〈知見〉を可能な限り共有することを目指し、「日本宗教文献調査学 合同研究会」を立ち上げることといたしました。ここでいう〈知見〉には、個別の寺社に存する文化財についてはもちろん、調査を行い、それを公開する際の技術的側面に関わる情報や、これから調査に従事しようとする若い世代の研究者たちも含めた人びとの繋がりも含んでいます。当面は、科研費等に基づく宗教文献調査団のいくつかが共同し、寺社に残る文化財についての知見と、人や技術とを繋ぐハブ組織としての合同研究集会を企画・運営してゆく所存です。ご関心を同じくする皆さまのご参集を切望します。

主催：科研費(基盤B)「新義真言系聖教の形成と教学的交流に関する基礎的研究」(課題番号:17H02342,代表:宇都宮啓吾)

共催：科研費(基盤S)「宗教テキスト遺産の探査と総合的研究—人文学アーカイヴス・ネットワークの構築」(課題番号:26220401,代表:阿部泰郎),

科研費(基盤B)「金剛寺聖教・文書類を基盤とした社寺ネットワークの解明とその蔵書史的研究」(課題番号:15H03186,代表:海野圭介),

科研費(基盤B)「再興・布教から霊場化へ—増峠関連の寺院経蔵調査を中心に—」(課題番号:15H03181,代表:中山一麿),科研費(基盤C)

「称名寺聖教を中心とした東国寺院における唱導資料と説話に関する研究」(課題番号:16K02394,代表:高橋悠介),歴史的典籍NW事業「紀

州地域に存する古典籍およびその関連資料・文化資源の基礎的研究」(代表:大橋直義),国文学研究資料館 歴史的典籍NW事業

連絡先: naohashi@center.wakayama-u.ac.jp

関連 URL: <http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/kisyuareastudies/>